

①庶務係集計事務の課題と改善方策(青葉区)

現状	課題
<p>庶務係は、区選挙係が中核となり、他課からのベテラン応援職員も含む係であり、実質的に開票作業全体を管理する立場にある。</p> <p>こうしたことから庶務係のマニュアル記載は簡単なものとなっている。</p>	<ul style="list-style-type: none">・集計システム入力へのチェック不足 ⇒ダブルチェック機能せず・投票数・投票者数不一致の際の再確認指示不十分 ⇒開票場で集計漏れの票がないかの見廻りのみ・開票管理者、開票立会人への確認説明不十分・最終集計の責任者不明確 ⇒選挙課長、事務局長の確認の有無不明確

開票所の不適正な集計に関して)

改善方策

- 投票録や集計表の数字を集計システムのどこに入力するのか、予め確認する。
- 読み上げる者と入力する者を入れ替えてダブルチェックを行う。
- 選挙毎の確定投票者数に大幅なずれがないか確認する。
- 入力作業に係るチェックシートを作成し、複数の担当者でチェックのうえ、事務局長や開票管理者等の承認を受けるようにする。
- 持ち帰り票が多くなった場合、開票所での集計結果のほかに、確定投票者数を再度確認する。
- 開票結果報告を出す前に、前回の選挙における結果とよく見比べ、不自然な箇所がないか確認する。
- 得票数等を確定する作業前の段階で、開票管理者及び開票立会人の確認を受ける。
- 集計内容について、市選管でもチェックシート等に基づき行うこととする。